



みんなで楽しむ音楽鑑賞会

第9回

# わくわく コンサート

-Viva Italia-  
Valentine コンサート

2016年  
2月14日 日

13:00(開場 12:30)

コンサート I Italia 13:00 開演  
コンサート II 'V' 14:00 開演

会場  
サンポートホール高松  
大ホール 3F  
入場無料(整理券不要)

主催：第9回「わくわくコンサート」実行委員会  
後援：イタリア大使館 香川県 香川県教育委員会 高松市 高松市教育委員会  
助成：(財)百十四銀行学術文化振興財団  
協賛：(公財)南海育英会 松楠会(香川大学教育学部同窓会) 幸楠会(香川大学教育学部後援会) 藤原高夫顕彰会  
協力：香川大学 EU 情報センター(香川大学図書館) ヤマハミュージックリテイリング高松店

お問合せ 香川大学教育学部「第9回 わくわくコンサート実行委員会」 〒760-8522 高松市幸町1-1  
TEL. (087)832-1472 FAX. (087)832-1417 E-mail : wakuwaku9@ed.kagawa-u.ac.jp

## プログラム I Italia

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. コレリ:ラ・フォリア                          | Variation |
| 2. プロコフィエフ:《ロメオとジュリエット組曲 第2番》より(ダンス公演) | Verona    |
| 3. イタリア民謡:「帰れソレントへ」「オ・ソレ・ミオ」           |           |
| 4. V. モンティ:チャルダッシュ                     | Violin    |

## プログラム II 'V'

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1. A. ヴィヴァルディ:《四季》「春」「冬」 | Vivaldi            |
| 2. イタリア・オペラより            |                    |
| プッチーニ:《蝶々夫人》「ある晴れた日に」    | Un bel di, vedremo |
| 《トゥーランドット》「誰も寝てはならぬ」     | Vincerò!           |
| ヴェルディ:《椿姫》「乾杯の歌」         | Verdi              |
| 3. メンデルスゾーン:交響曲第4番《イタリア》 | Vivace             |



○小学生以下の方は、保護者同伴でお越しください。  
○介助の必要な方は裏面をご参照のうえ、ご連絡ください。  
○車いす席(16席)を超える場合はスタッフが協力いたします。  
○満席の場合、入場をお断りすることがございます。

## 梅本大使ご挨拶

日本人とイタリア人との間で最初に交流があったのは16世紀後半にまで遡りますが、日本とイタリアが修好通商条約を締結し、国交を樹立したのは1866年8月25日のことでした。それ以降、日伊両国は近代国家として発展を遂げ、さまざまな幅広い分野にわたり両国間の友好協力関係は着実に進展してまいりました。そして、2016年は国交開設から150年目に当たります。

この大きな節目の年に、イタリア及び日本の各地におきまして、日伊国交150周年事業が実施される予定です。政治、経済、文化、科学技術、スポーツ、観光、教育など多岐にわたる分野で交流事業が行われることにより、日伊両国及び両国民の相互理解が一層促進され、かつ、二国間関係の新たな展望が拓かれる契機となることを期待しております。

国と国との関係とは、詰まるところ人と人との関係です。日本側はイタリアで、イタリア側は日本において紹介・交流行事を行うこととなりますが、日伊国交150周年事業におきましては、いずれの国で実施されるにせよ、政府と民間とを問わずできるだけ多くの方々に関与し、幅広い交流がなされることを祈念いたします。

日伊国交150周年事業が実り多きものとなり、幅広い分野で日伊関係が一層発展しますよう、皆様方からのご参加とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

在イタリア日本国大使 梅本 和義

### 日本とイタリア 150年の 揺るぎない友情

ナポリ東洋大学  
日本史・日本政治学科  
ノエミ・ランナ准教授

1866年8月25日、日本とイタリアは、「日本大君と伊太利國王其親族並に世々」とその相互の所領臣民との間で「無差別」に、「永久の平和懇親」を願って修好通商条約を締結しました。第1条に述べられたこの願いは現実のものとなり、条約への署名から150年にわたり、日伊両国は絶えず友好的な関係を維持しています。

国交開設後、両国の関心は様々な要因によりかなりの共通性を帯びるようになります。まず、日本とイタリアは貿易の面で相互補完的な関係にありました。養蚕業が主な産業の一つであったイタリアは、1854年より、国内のほとんどの養蚕地区に広がった蚕の伝染病によって大きな打撃を受けていました。この伝染病は他の欧州諸国にも蔓延していたため、イタリアの業者は日本の蚕卵市場へ目を向けるようになります。一方、日本にとってもイタリアからの需要は大きな収入源となり、江戸時代(1603～1868)末期から明治時代(1868～1912年)初期にかけ、統計上、イタリアは多い年には日本の輸出先の2割にも達していました。また、両国民間の深い相互理解は、貿易上の理由に加え、イタリア統一運動により生み出されたイタリアに対する共感にもよるものでした。日本人の目からすれば、イタリアにおける統一運動は、ほぼ同時期に起こった江戸幕府の終焉、そして明治維新(1868年)につながる歴史的な出来事と非常に似通っているように見えたのです。

これらを踏まえれば、イタリアの軍艦ヴェットーレ・ピサニが、1881年、外国船として史上初めて天皇陛下をお迎えしたことも不思議ではありません。とはいえ、この極めて良好な二国間関係は、これに8年先立つ岩倉使節団(1871～1873年)のイタリア訪問に際して既に確固たるものとなっていました。欧米諸国に向けて日本を出港した外交使節団は、新しい日本政府の信任状を訪問先の国々に捧呈し、また、それら諸国の政治・経済・法制度を直に学ぶという2つの目的を掲げていました。この使節団は、1873年5月9日から6月3日にかけてイタリアに滞在し、様々な都市を訪問しました。その後は、1888年に日伊学会が発足し、両国文化の相互理解に大きな推進力を与えていくことになります。

第一次世界大戦では、日本とイタリアの両国は、イギリス・フランス・ロシアの三国協商側につきま。平和条約締結後も、両国は同じ道を歩きました。終戦直後の理想主義に満ちた風潮の中、日伊両政府の距離は更に縮まります。たとえば、1920年に皇太子殿下(後の昭和天皇)がイタリアを御訪問されたことは象徴的なことですし、同年にイタリア人パイロット2名が史上初めてローマから東京に飛行したことは実質的な例として挙げることができます。残念ながら、防共協定(1937年)と日独伊三国同盟(1940年)が示すように、両国は、自由

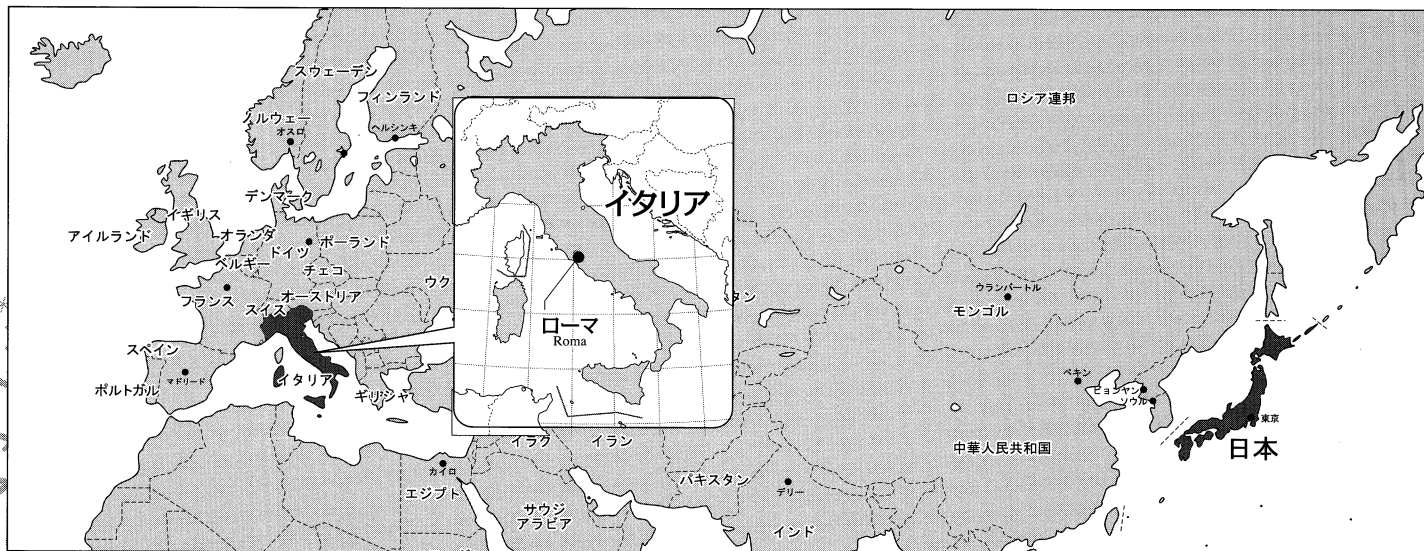
民主主義の危機を招き軍事的な拡張政策をもたらした不吉な時代の流れも共に歩むこととなりました。

1945年は、日本とイタリアにとって新たな出発点となりました。両国の歩みは改めて交差するようになります。新しいイタリア共和国は、反ファシズム、レジスタンス運動、国際紛争を解決する手段としての戦争の放棄、といった民主主義的な価値観を基本として成り立っています。また日本は、民主主義と平和主義を復興の土台としました。概して、冷戦時代は両国にとって実りある時期となりました。政治対話は最も高いレベルにまで達し、貿易量も次第に伸びていきました。1962年に設立されたローマ日本文化会館や1959年に東京で再度開館したイタリア文化会館による価値ある活動を通じて、文化面の交流も活発化しました。また、多くの奨学金は、両国の若い世代の学者たちに交流の機会をもたらし、まさに大陸を横断する学問共同体を生み出したとすることができます。

両国間に友好と平和が維持されてきたことには、様々な要素が寄与しています。まず思い起こすべきことは、修好通商条約の締結(1866年)以前に、両国間には先程述べたイタリア養蚕業者による商いだけでなく、16世紀に遡る多くの重要な出会いがあったということです。まさに今年は、支倉常長が率いる使節団が1613年に仙台を出港し、ローマに到着してから400周年に当たり、その記念式典が行われました。「イタリア・日本の450年」(Italia-Giappone 450 anni)、アドルフォ・タンブレロ教授監修)に掲載された数々の論文において事細かに裏打ちされているとおり(詳細は同書に譲ります)、日伊関係は長い歴史を誇り、両国の政治・経済・文化など様々な場面に影響を与えてきました。

第二は、日伊関係が発展してきた国際環境は、二国間関係に良い意味での影響を与えてきたということです。修好通商条約が締結された19世紀の後半、日本とイタリアは新参者、すなわち、両国は、当時の国際秩序を支配していた大国と比べれば、近代化の道を遅れて歩み始めた国でした。そのため、両政府は、同じ国際システムの縛りに対峙しなければならず、したがって、国際社会において(主要国としての)威信と認知を得るといった共通の目標を追い求めていました。また、国際秩序が二極構造となった1945年以降には、日本とイタリアは再び類似の課題に挑むこととなります。世界が東西ブロックに明確に分断された中で、戦争により相当な被害を受けていた経済システムの早期回復を阻害することなく、自国領域の安全を確保することが最優先事項となりました。ここでも両国は同様の道を選び、米国に歩調を合わせることで、地理的な特徴という利点を最大限に活かしつつ、国民に平和と繁栄を保障することに成功しました。現在でも、日本とイタリアは相互に深い絆で結ばれ、共に歩み続けています。

注) 本寄稿文の内容は、政府の見解を示すものではありません。  
[日伊国交150周年公式HPより]



本日は、ご来場ありがとうございます。今年のテーマは Viva Italia! 'V'とイタリアです。  
2016年は日本とイタリアが国交を結んでから150年目を迎える記念の年です。

「第9回わくわくコンサート」もイタリアと「V」、そしてヴァレンタインデーに関わりのある様々な作品を集めてプログラムを構成しました。

プログラムI (Italia) では、北イタリアのヴェローナ (Verona) を舞台に繰り広げられる5日間の悲しい恋人たちの物語『ロメオとジュリエット』、恋心をうたうイタリア民謡「帰れソレントへ」「オ・ソレ・ミオ」を、ヴァイオリン (Violin) やヴィオラ (Viola)、ダンスを交えてお届けいたします。

プログラムII ('V') ではヴィヴァルディの《四季》から「春」と「冬」、イタリア・オペラの名曲、交響曲《イタリア》を演奏します。ロビーでは、イタリアのお話、イタリアクイズ、イタリア展示コーナー、日本のダ・ヴィンチ (da Vinci) とよばれる平賀源内にちなんだ最新の電池の展示コーナーや電池で走るおもちゃ (機関車トーマス)、「Baloon de Valentine」(「バルーンdeヴァレンタイン」)、そして恒例になりました楽器体験などを開催します。午後のひと時をお楽しみいただけましたら幸いです。

プログラム  
program

コンサート I

Italia

1 コレツリ/堀越隆一:ラ・フォリア  
ヴィオラ:堀越みち子  
ピアノ:香川明美

2 プロコフィエフ:『ロメオとジュリエット』組曲第2番 Op.64より  
フォークダンス 街の目覚め 若きジュリエット  
モンターギユ家とキャピュレット家 マーキュシオ  
ピアノ:香川明美 ダンス/振付:藤元恭子 ダンス:藤原希 松島佳香 成木智子

3 イタリア民謡 (カンツォーネ)  
クルティス:帰れソレントへ カープア:オ・ソレ・ミオ  
バリトン:志賀勇太  
ピアノ:香川明美

4 モンティ:チャルダッシュ  
ヴァイオリンI:福崎至佐子 川村陽華 三武亜紀子 山中香林 守田理究  
ヴァイオリンII:東城未帆 楠原葉子 新田祐歌 木村孝  
ヴィオラ:堀越みち子 佐々木啓隆 坂昭男  
チェロ:片山智夫 荒木誠一 コントラバス:伊達健司

コンサート II

V

1 ヴィヴァルディ:『四季』合奏協奏曲集  
和声と創造への試み 作品8より  
第1番「春」 ヴァイオリンI:福崎至佐子 東城未帆 三武亜紀子 守田理究  
第4番「冬」 ヴァイオリンII:川村陽華 楠原葉子 新田祐歌 木村孝  
ヴィオラ:堀越みち子 佐々木啓隆 坂昭男  
指揮:久志本涼 チェロ:片山智夫 荒木誠一 コントラバス:伊達健司  
ソロ・ヴァイオリン:山中香林 チェンバロ:小林遼香

2 オペラ  
プッチーニ:蝶々夫人『ある晴れた日に』 蝶々夫人:林里美 (ソプラノ)  
プッチーニ:トゥーランドット『誰も寝てはならぬ』 カラフ:松本敏雄 (テノール)  
ヴェルディ:椿姫『乾杯の歌』 ヴィオレッタ・ヴァレリー:林里美 (ソプラノ)  
アルフレード・ジェルモン:松本敏雄 (テノール)

3 メンデルスゾーン:交響曲第4番『イタリア』第1楽章  
指揮:久志本涼 演奏:Wakuwaku 室内管弦楽団

# 第9回 わくわくコンサート

2月14日(日)

	12:30	13:00	13:45	14:00	14:45	15:15	
大ホール	ホール	開場  	コンサートⅠ Italia 1. コレリ:ラ・フォリア 2. プロコフィエフ: 《ロメオとジュリエット組曲 第2番》より 3. イタリア民謡: 「帰れソレントへ」「オソレ・ミオ」 4. モンティ:チャルダッシュ 		休憩	コンサートⅡ 'V' 1. ヴィヴァルディ:《四季》「春」「冬」 2. イタリア・オペラより 《蝶々夫人》「ある晴れた日に」 《トゥーランドット》「誰も寝てはならぬ」 《椿姫》「乾杯の歌」 3. メンデルスゾーン:交響曲第4番《イタリア》  ★大ホールで チェンバロを弾こう! (ステージ上10名様) <b>先着10名様</b>	
		ロビー	★イベント	ロビー託児 ●ロビー託児 <b>*当日受付</b> 4歳以上のお子様をお預かりします。 *定員になり次第、締め切らせていただきます。 		★イベント	

## ★イベント

★Baloon de Valentine

★電池

- ・Volta: 電池の今昔 不思議な液体-イオン液体-
- ・電池で走るおもちゃ-機関車トーマスを走らせよう-

★音で遊ぼう

★イタリアのおはなし(読み聞かせ)

★イタリアクイズ

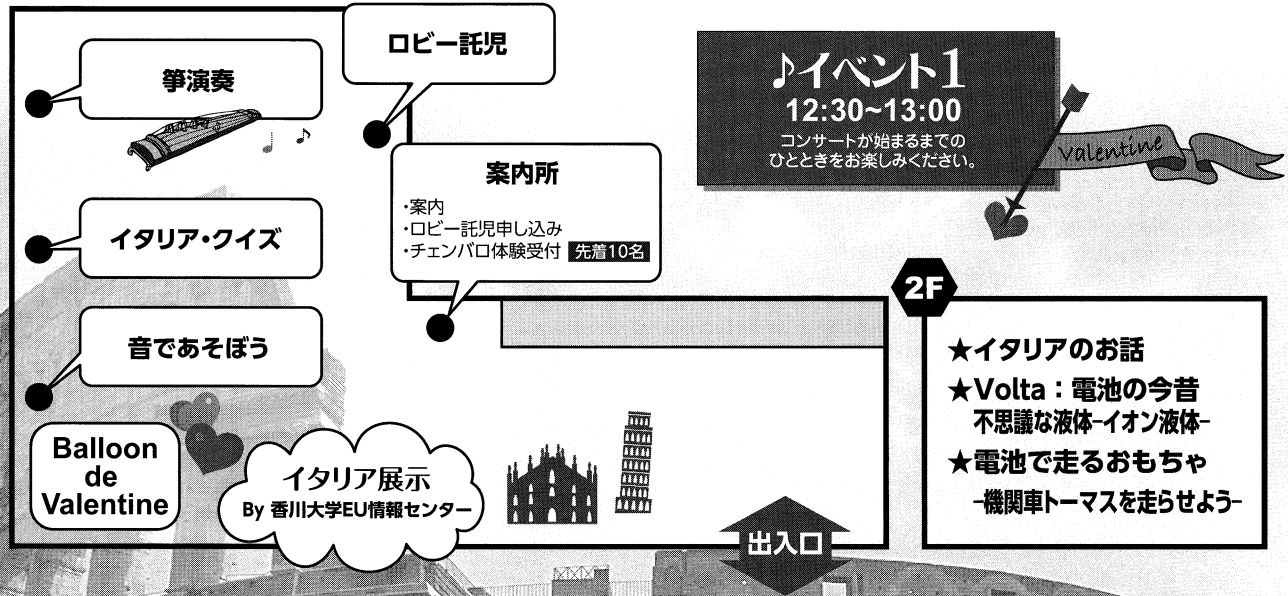
★イタリア展示 By 香川大学EU情報センター

★楽器体験(コンサートⅡ'V'終了後)

(ヴァイオリン, ヴィオラ, チェロ, ギター, チェンバロ, 箏)



1F



1F

